

# 美術講座 2022

展覧会のこと、最近の関心事、専門的に研究していること…  
学芸員がちょっとディープな美術の色々を全5回にわたってお話します。

8/20  
[土]

## 「肖像」について —モンパルナスのキキの場合

担当：荒井直美 学芸員

ユトリロ、モディリアーニ、藤田嗣治、キスリング… 20世紀初頭のパリの美術家たちがこぞって描いた女性。モンパルナスのキキとして知られたその人はナイトクラブの歌手でした。マン・レイも恋人キキの姿をカメラに収めています。さまざまな作品の魅力に触れながら「肖像」について考えます。

9/3  
[土]

## 『妖精の距離』のころ

### 1937年の日本シュルレアリスム絵画とその周辺

担当：上池仁子 学芸員

コレクション展Ⅱに展示する詩画集『妖精の距離』（詩：瀧口修造 画：阿部展也）、富樫寅平『馬のゐる風景』、岩橋英遠『土』は、いずれも1937年に発表されました。それらの表現を起点に、同時代の日本シュルレアリスム絵画のひろがりをご紹介します。

11/19  
[土]

## 美術館とデザイン —クライアントとしての

担当：前山裕司 館長

展覧会のポスターや図録などのグラフィック・デザインは、美術館にとってとても重要です。仕事を発注するクライアントとして、1980年代から日本を代表する田中一光や新潟出身の亀倉雄策をはじめ、多くのデザイナーと、訴求力のあるデザインを求めて共同作業をしてきた経験をお話します。

12/24  
[土]

## 「リアル」の来し方 —江戸の写実表現

担当：菅沼楓 学芸員

明治維新とともに本格的に輸入された写実表現ですが、それ以前、すでに江戸時代の画家たちによってその導入が試みられていました。彼らは、どのようなものを「写実」と捉え、表現しようとしたのでしょうか。江戸の先人たちが追い求めた、さまざまな「リアル」のかたちと、その時代背景をお話します。

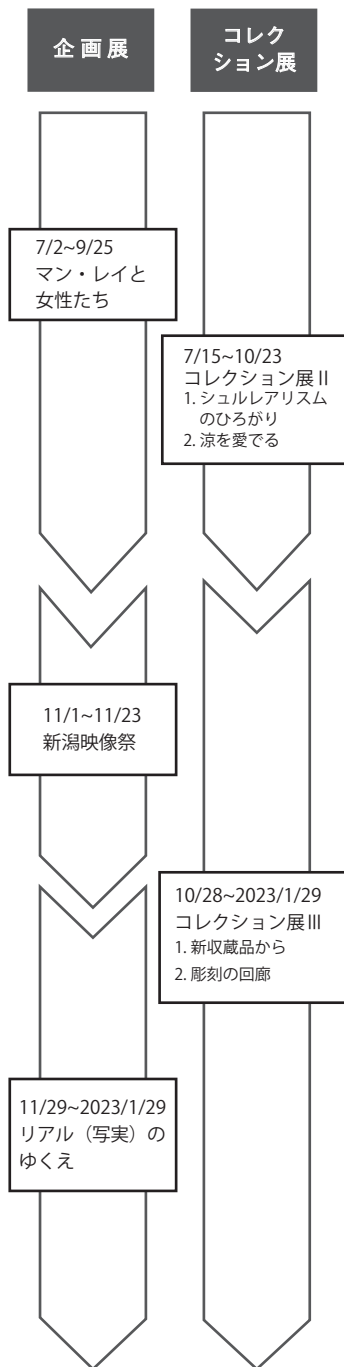
2023  
1/21  
[土]

## 彫刻ゲン論 —現実・幻影・原理—

担当：藤井素彦 学芸員

「現」実の塊のように見える彫刻が、本当は不確かさの塊でもあることについて、なるべく具体的に、あけすけな説明を試みます。1) 彫刻が「幻」になること、2) 「幻」が彫刻になること、という2つのテーマを通じて、様々な作品に通じ合う「原」理的な話題をご紹介します。

### 展覧会スケジュール



※タイトルや内容は変更となる場合がございます。

info

時間 14:00 ~ 15:30 (13:30 開場)

場所 新潟市美術館 2F 講堂

定員 80名 ※聴講無料、事前申し込み不要

※感染症対策として、ご来場の際に氏名・連絡先の提供をお願いいたします。



新潟市美術館

Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9

Tel.025-223-1622 www.ncam.jp

www.facebook.com/ncam.tsunagaru/